

PJハンガー取扱説明書 (RICOH プロジェクター用)

このたびは、お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この「取扱説明書」は、本製品を安全に正しくご使用いただくためのものです。ご使用前に必ずお読みください。
また、ご使用中もお手元に置いてご活用いただき、大切に保管してください。

安全上のご注意

製品は安全に十分配慮して設計されておりますが、誤った取り扱いをすると、火災が起きたり人が障害を負うことがあります。事故防止のため下記を必ずお守りください。

⚠ 注意

下記の注意を守らずに誤った取り扱いをすると
人が障害を負う、または財産に損害を与える恐れがあります。

❗ すべての止めネジはしっかりと確実に固定してください。けがや破損の原因となります。

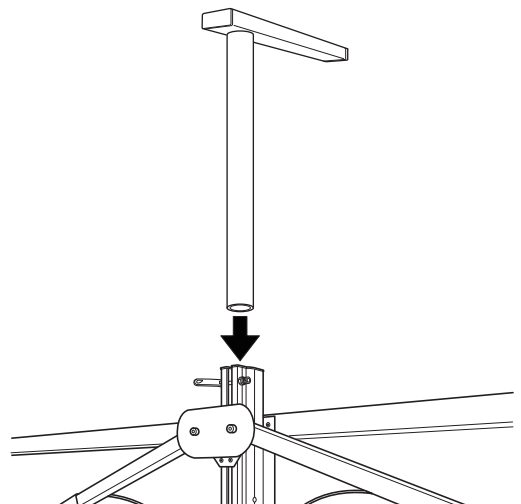
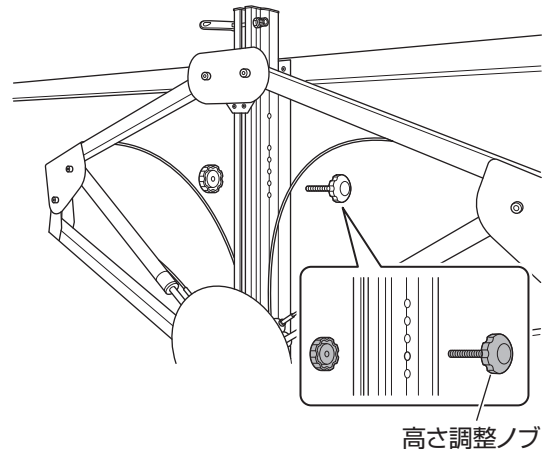
開梱時に必ず内容をご確認ください。

PJハンガー 1 個 プロジェクター固定ネジ (M4 × 20 セムス P=3) 3 個
ケーブルホルダー 3 個

PJハンガーをセットする

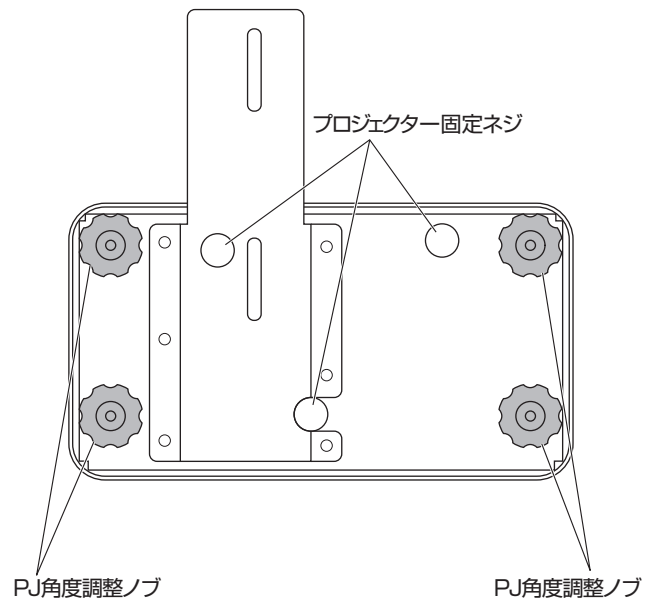
スクリーン本体のPJアームの高さを設定する

1. PJアームの高さ調整ノブを最上段の穴に差し込み、しっかりと確実に固定します。
 - ・最上段と2つ目の穴の間は少し間隔が空いています。
2. PJアームを本体に差し込みます。



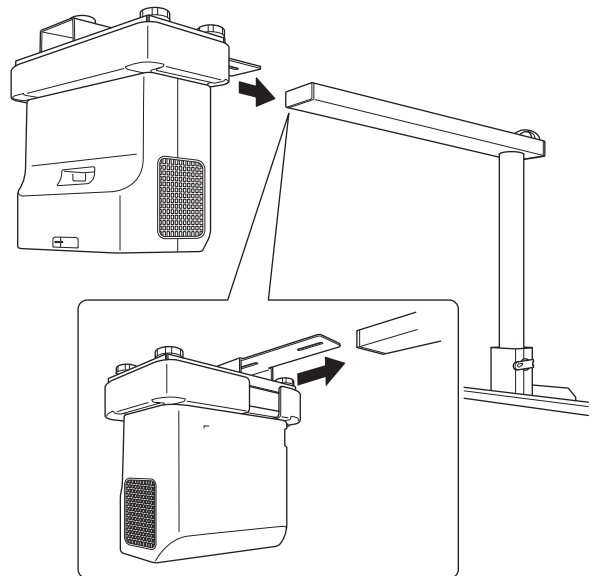
PJハンガーを取り付ける

1. プロジェクターを裏返して、底面のネジ穴に合わせてPJハンガーを置きます。
2. プロジェクター固定ネジを穴から差し込み、3箇所を固定します。ネジがしっかり締まっていることを確認してください。
 - ・ プロジェクター本体や、作業台にキズが付かないよう注意してください。
 - ・ 固定前に、必ずプロジェクターの前後を確認してください。
 - ・ PJハンガーを分解しないでください。
 - ・ 先端にマグネット付きのドライバーをお使いください。

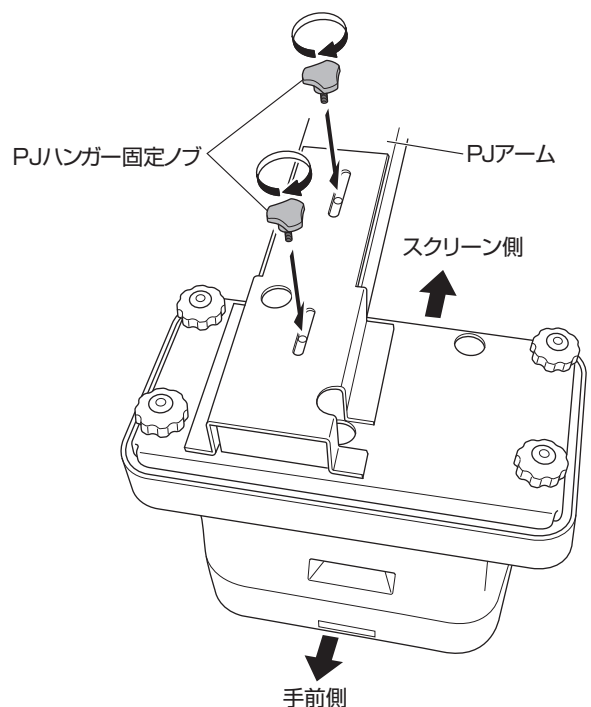


PJハンガーをPJアームに設置する

1. プロジェクターを取り付けたPJハンガーをPJアームに差し込みます。
 - ・ プロジェクターの前後を確認してください。



2. PJアームのネジ穴をスリットに合わせて、PJハンガー固定ノブを差し込んで締めます。



投影画面を調整する

1. プロジェクターの電源を ON にします。

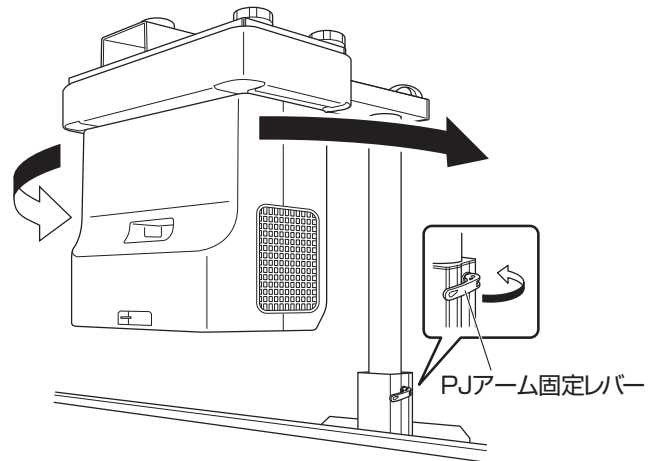
🔍参照 詳しくはプロジェクター本体の取扱説明書を参照してください。

2. プロジェクターに内蔵されているテストパターンか、パソコンを接続して画像を投影してください。

◆注記 投影画面の調整には、解像度に影響が出る可能性がありますのでプロジェクターのデジタル補正機能を極力使用しないことをお勧めします。

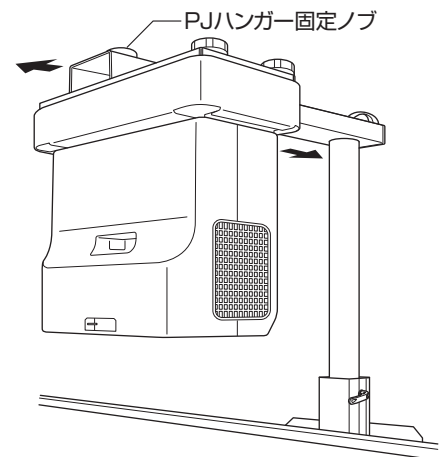
プロジェクター位置の調整（左右）

1. PJアーム固定ノブを緩め、PJアームをスクリーンに対して水平方向に動かしてプロジェクターがスクリーンに対して 90 度の位置になるよう調整します。
2. PJアーム固定ノブを締めます。
PJアーム固定ノブを締めるときは、PJアームが回転しないよう手で押さえてください。



プロジェクター位置の調整（前後）

1. PJハンガー固定ノブを緩め、PJハンガーを前後にスライドさせてプロジェクターと投影画面の距離を調整します。
2. PJアームのスリットの中心付近に合わせてPJハンガー固定ノブを締めます。

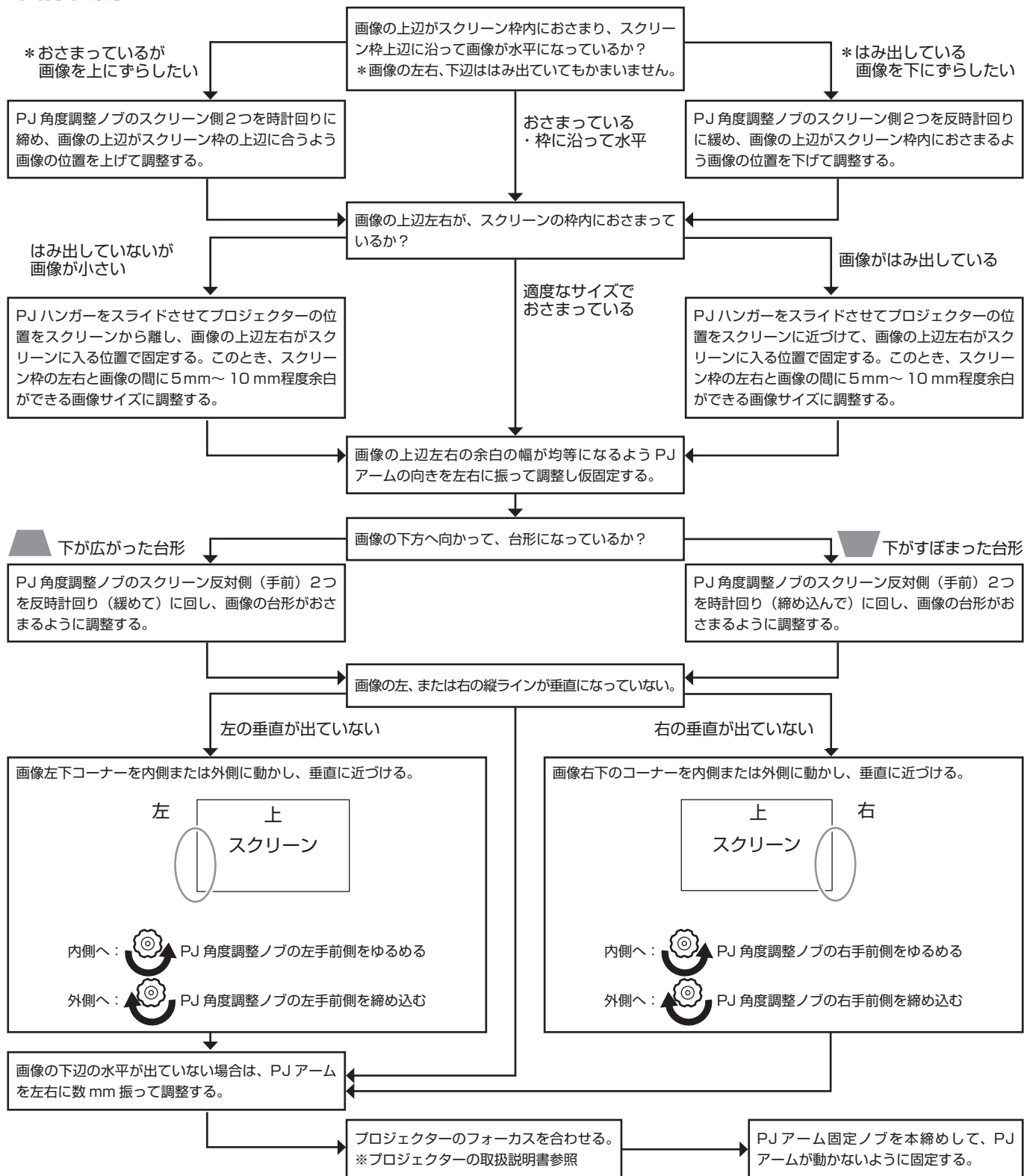


プロジェクターとスクリーンの位置関係の目安

プロジェクターにデジタル補正や台形補正などを設定している場合は、すべて初期化して補正されていない状態にしてください。

🔍参照 詳しくはプロジェクター本体の取扱説明書を参照してください。

画像微調整チャート



ケーブルを整理する

ケーブル類はスクリーンボードとパンタグラフの間に通し、付属のケーブルホルダーで束ねて整理してください。PJ アームや本体背面に取り付けてご使用ください。

◆注記 パンタグラフにはケーブルホルダーを取り付けしないでください。プロジェクターの電源ケーブルやパソコン接続ケーブルが短い場合は、延長ケーブルをご用意ください。



製造元・問い合わせ先

泉 株式会社 樹脂事業部 東京樹脂課 〒 141-0021 東京都品川区上大崎三丁目 1 番 1 号 JR 東急目黒ビル 15F TEL : (03) 5719-7482